

地域経済活性化拠点(道の駅)整備事業

○これまでの経緯

- ・市長マニフェスト“新しあわせ倍増計画”に
「滞在型市民農園の整備と道の駅の整備」の位置づけ
- ・地元要望あり



平成26年度 都市経営戦略部において、“さいたま市
「道の駅」基礎調査業務”を実施

(調査内容)

今後検討を行うこととしている「道の駅」の設置に関する基本的な事項を明らかにし、導入可能性調査を目的として実施

平成26年度調査結果概要

- 首都圏に位置する都市の特性を活かした「※都市型道の駅」とすることで、別紙候補エリアについて**設置可能性は十分に高い**との結果。

※都市型道の駅・・・地域外からの活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」、地域の元気を創る「地域センター型」にあわせ、「防災機能」など多様な機能を併せ持つ道の駅と定義

平成27、28年度の事業実施内容

(平成27年度)

- 昨年度の基礎調査結果を踏まえ、候補エリア地域の基礎的条件の整理、コンセプトの具体化、施設規模の精査等を行い、基本構想の策定を行う。(予算:委託料12,000千円)
- 事業実施の決定⇒本年度の調査結果を踏まえ、候補エリアを決定

(平成28年度)

地元説明・協議(予算:15,000千円)

今後の検討事項・課題

- 本年度の調査結果を踏まえた、事業エリアの決定
- 公共施設マネジメント計画との整合性
- 候補エリアの土地利用計画等の検討
- 組織体制の強化

(本集中審議での論点)

平成26年度の基礎調査結果では、「実施可能性が十分に高い」とされているが、市としての事業実施判断

今後の整備事業計画予定

